

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変・事故発生時の備えや、応急手当が必要となった場合には、救急隊に引き継ぐまでの応急手当として、AEDが必要。当施設にはAEDが設置されていない。	心肺蘇生とAEDの使用で人命救助が出来る。	救急救命講習時、緊急時の対応として、AEDの重要性を認識しましたので、設置に向けて本社と相談して行く。	12ヶ月
2	35	災害対策として、地域・家族を交えた連絡網がなく、協力体制が整っていない。	災害時には、入居者全員の避難誘導が第一と考えるため、家族・地域の方の協力で、全員の救出が出来る。	運営推進委員会時や家族面会時に災害時の避難誘導のお話を聞いて頂き、地域の方・家族を交えた連絡網を作成する方向で取り組む。(時間がかかると予測する)	12ヶ月～24ヶ月
3	48	(2F)仕事に追われ中々、入居者との触れ合いやレクリエーション等で張り合いのある生活や、楽しみが提供されていない。(施設内での楽しみ方)	入居者さんとお話やゲーム等でコミュニケーションを図ることにより、生活に楽しみが出来る、職員との関係も良好になり、さらに信頼関係が増す。	毎日、時間に余裕がある時には、レクリエーションで楽しんで頂く。担当は決めないでその日の、日勤者で考える。身体機能レク・趣味レク・習慣レクで気持ちの活性化を図る。	12ヶ月
4	19	(1F)施設行事(蕎麦打ち・お餅つき)にはご家族様に参加して頂き、協力が得られているが、その他職員とご家族との交流があまりない。	日頃の入居者様の様子を話したり本人、家族、職員との絆を大切に、何でも話し合える環境を築いて行く。(茶話会)	日頃の様子をビデオ撮影し、家族と一緒に鑑賞したり、お茶を飲みながら、楽しいひと時を過ごして頂く。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。